

令和8年度 中能登町立鹿西小学校 学校経営方針

校訓

「一日生きることは 一步進むことでありたい」

湯川秀樹博士

千一
鹿西小

1 教育目標

ふるさと鹿西に愛着と誇りを持ち、未来を切り拓く資質・能力の育成
～主体的、対話的に学び合い、自分を鍛え磨く児童の育成～

2 めざす学校像

○Well Being(安心・安全)

児童・教職員が安心して楽しく学び、協働する学校

○信頼

家庭・地域から信頼される学校

○児童が主役

子どもを主語にする教育を実現する学校



3 めざす児童像

○かしこい子

進んで学び、よく考える子

○やさしい子

思いやりのある心豊かな子

○たくましい子

心身共に健康で、粘り強く取り組む子



低学年「自立」

中学年「協調」

高学年「貢献」

4 めざす教職員像

○自らの責務を自覚し、向上心を持って学び続け、学習者主体の授業に取り組む教職員

○児童の心理的安全性を確立するために情報を共有（報連相を徹底）し、チームで対応する教職員

○心身の健康と業務改善に高い意識を持ち、支え合い、高め合う教職員



教職員「協働」

令和8年度 重点

1 確かな学力を育む

- 学習規律と基礎学力を確実に定着させ、個々に応じた指導の工夫を実践する。⇒「**聴く**」力
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点を踏まえ、**子どもが「分かる授業」**を目指す。
- 主体的・対話的に学び合う中で、**ねらい達成のために** ICT を効果的に活用する。
⇒ICTの有効活用（AI・プログラミング教育(プログラミング的思考を意識した授業)）

2 豊かな心・健やかな体を育む

- 良好な人間関係構築やコミュニケーション力を育む取組、児童が主体的に考えた行事や学習活動を通して達成感を実感できる取組を実践する。
⇒**いじめの未然防止・早期発見・迅速な対応**（縦割り班活動の充実・児童主体の児童集会）
- 基本的な生活習慣の定着を図る。⇒保護者への啓発・食育の推進
- 自己目標の設定と見直し及び他者理解を培う活動を工夫する。（ナカノトーク・日々の授業）

3 教職員の資質・能力の向上を目指す

- 「**教師は授業で勝負する**」という意識を持ち、学校研究に沿った共通理解と共通実践を行う。
⇒**学習者主体の授業**＋「**学び合う**」**教師集団**（要請訪問・校内研修会・授業参観交流）
- 研修履歴を活用した適切な受講により、自らの教師力を伸ばす。
- 教育公務員としての自覚を持ち、教育の質を落とさぬ働き方を意識した**自己管理能力**を高める。
⇒（短縮日課(週3日)・校務部会のスリム化・留守番電話対応(18時以降)・高学年教科担任制）
- 保護者や地域の声を真摯に受け止め、**丁寧な情報発信**を行う。（ホームページ・各種通信の充実）

4 危機管理の徹底を図る

- 危険を予測し、未然に防ぐ最大の努力をする。⇒**防災教育**の充実(避難訓練)・**児童の心のケア**
- 保護者や地域への対応については、事前に管理職と対応を相談する。⇒「**報連相**」の徹底
- 日常的な授業参観及び施設の見回りを行う。⇒**気づきの共有化**＋迅速な全体指導